



となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰

☆下中だより「となん」は、
学校HPから閲覧可能→→



ユニセフ「幸福度」調査から

日本の子供、心の健康が下位低迷

昨日(5/14(水))のYAHOO!JAPAN ニュースに、気になる記事「日本の子供、心の健康が下位低迷」を見つけました。掲載画像と記事を紹介します。

子どもの幸福度ランキング

総合順位	精神的な健康度	身体的な健康度
1 オランダ	1 オランダ	1 日本
2 デンマーク	2 ポルトガル	2 フランス
3 フランス	3 デンマーク	3 デンマーク
...	...	...
14 日本	...	...
27 韓国	...	28 韓国
...	...	...
32 日本	34 韓国	...
...	...	...
35 トルコ	35 トルコ	...
36 チリ	36 ニュージーランド	38 米国
...	...	...
...	...	40 チリ
...	...	41 メキシコ

※ユニセフ報告書による。データが不十分な国が複数あり、「総合順位」と「精神的な健康度」は36カ国、「身体的な健康度」は41カ国がランク付けされた

男子バレー部はじめました

1年生男子9名でのスタート

本年度、みだしのように「男子バレー部」が発足しました。部顧問は仲間真吾先生。主将は上地健翔さん。初回の練習は、屋外で行っていましたが(体育館と特別棟の間の中庭)。先日の地区春季大会へのエントリーには間に合いませんでしたが、来月開催の中体連夏季総体からエントリーするそうです。



初勝利がいつになるのか、今から楽しみです。

余談になりますが、教職員バレー大会が24日(土)に開催予定です。練習相手になってください。

【お知らせ】

☆先生方と子どもとの心温まるやりとりを、「やりとり帳」や「道徳ノート」「活動のワークシート」等で見る事が多くあります。頑張っている子どもたちに、保護者の皆さんからもぜひ激励をお願いします。

国連児童基金(ユニセフ)は14日、先進・新興国43カ国に住む子供の「幸福度」を調査した報告書を公表した。日本の子供は高い自殺率などが要因となり「精神的な健康度」が32位と下位に低迷した。2020年公表の報告書では37位だった。「身体的な健康度」は20年に続き首位だった。

経済協力開発機構(OECD)や欧州連合(EU)に加盟する国が対象。「精神的な健康度」「身体的な健康度」「学力・社会的スキル」の3分野でランク付けした。日本はスキルが12位(20年は27位)で、総合順位は14位(同20位)だった。

報告書によると、日本の若者の自殺率は4番目に高かった。貧困問題に詳しい東京都立大の阿部彩教授は「日本では子供が精神的な問題を抱えるという意識が薄い。政府の対策も効果が出ていない」と強調。身体的な健康に関しては「肥満は少ないが、痩せすぎの問題はある」とした。

総合順位では首位がオランダ、2位がデンマーク、3位がフランス。データが十分に集まらなかった米国など7カ国を除く36カ国で最下位はチリだった。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/11e2b793c78e96773c0e21eccae437a06fd7fdce>